

市政記者クラブ 様

 環境局地域環境対策部地域環境対策課
 主幹(環境影響評価・化学物質) 小出(972-2676)
 有害化学物質対策係長 村瀬(972-2677)

周辺井戸水調査結果について

平成 26 年 2 月 27 日に交通局が公表しました地下鉄今池駅湧水の地下水汚染（テトラクロロエチレン 0.040 mg/L）に係る周辺の井戸水調査の結果について、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 調査日 平成 26 年 3 月 25 日、26 日
- 2 調査対象 汚染が発見された地下鉄東山線今池駅から池下駅間より周辺 500m 以内の井戸 11 本 (①～⑪)
- 3 調査結果 周辺井戸 1 か所でテトラクロロエチレンが環境基準を超過しました。

単位：mg/L

所 在 地		①千種区 仲田二丁目	②千種区 仲田二丁目	③千種区 高見二丁目	④千種区 菊坂町	地下水の 環境基準
地下鉄 ^{※1} からの距離		北 300m	北 300m	北 100m	南東 400m	
調 査 日		3 月 26 日	3 月 26 日	3 月 26 日	3 月 25 日	
用 途		工業用水	その他	生活用水	生活用水	
ストレーナーの位置		不明	不明	不明	不明	
調 査 項 目	塩化ビニルモノマー	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	0.0081	<0.0005	0.0005	<0.0005	0.01 以下

単位：mg/L

所 在 地		⑤千種区 春岡二丁目	⑥千種区 今池五丁目	⑦千種区 今池五丁目	⑧千種区 今池五丁目	地下水の 環境基準
地下鉄からの距離		南 500m	南 200m	南 400m	南 300m	
調 査 日		3 月 25 日	3 月 25 日	3 月 26 日	3 月 25 日	
用 途		一般飲用	生活用水	生活用水	生活用水	
ストレーナーの位置		不明	40- 50m 90-100m	30- 50m 90-100m	92- 97m 101-107m	
調 査 項 目	塩化ビニルモノマー	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.007	0.010	0.015	0.04 以下
	トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.011	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005	0.0064	0.0013	0.011 ^{※2} (1.1 倍)	0.01 以下

所 在 地		⑨千種区 今池五丁目	⑩千種区 今池五丁目	⑪千種区 内山三丁目	地下水の 環境基準
地下鉄からの距離		南 400m	南 300m	西 200m	
調 査 日		3 月 25 日	3 月 25 日	3 月 26 日	
用 途		一般飲用	生活用水	一般飲用	
ストレーナーの位置		45-50m 60-80m 90-95m	44-52m 86-90m	90-110m	
調 査 項 目	塩化ビニルモノマー	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	0.0076	0.0036	<0.0005	0.01 以下

※1 地下鉄とは、地下鉄東山線今池駅から池下駅間

※2 太字部分は環境基準を超えた物質の濃度、() 内は環境基準に対する倍率です。

4 今後の対応

環境基準を超えた井戸については、井戸水を飲用しないように指導しました。

周辺において、過去も含めテトラクロロエチレンの使用状況について調査しましたが、汚染源と考えられる事業所等は確認しておりません。

引き続き、調査範囲を広げて周辺井戸水調査を行います。

環境基準を超えた井戸については、今後も定期的な監視を行います。

<参考>

1 環境基準を超過した物質の毒性について

・テトラクロロエチレン

急性毒性： 急性高濃度暴露では、中枢神経系抑制作用を主としてめまい感、不快感、めまいなど、さらに高濃度では意識を失う。反復暴露では頭痛、脱力感等を訴え、重症例では不眠、記憶力の低下、手指の知覚低下などが見られる。作業中に暴露した人に、肝、腎、中枢神経への影響が見受けられる。

発がん性： IARC（国際がん研究機関）： 2 A（人に対して恐らく発がん性があるもの）
USEPA（アメリカ環境保護庁）： B 2（動物実験では発がん性が認められているものの、人に対する発がん性の証拠は不十分であるもの）

出典「改訂4版水道水質基準ガイドブック」

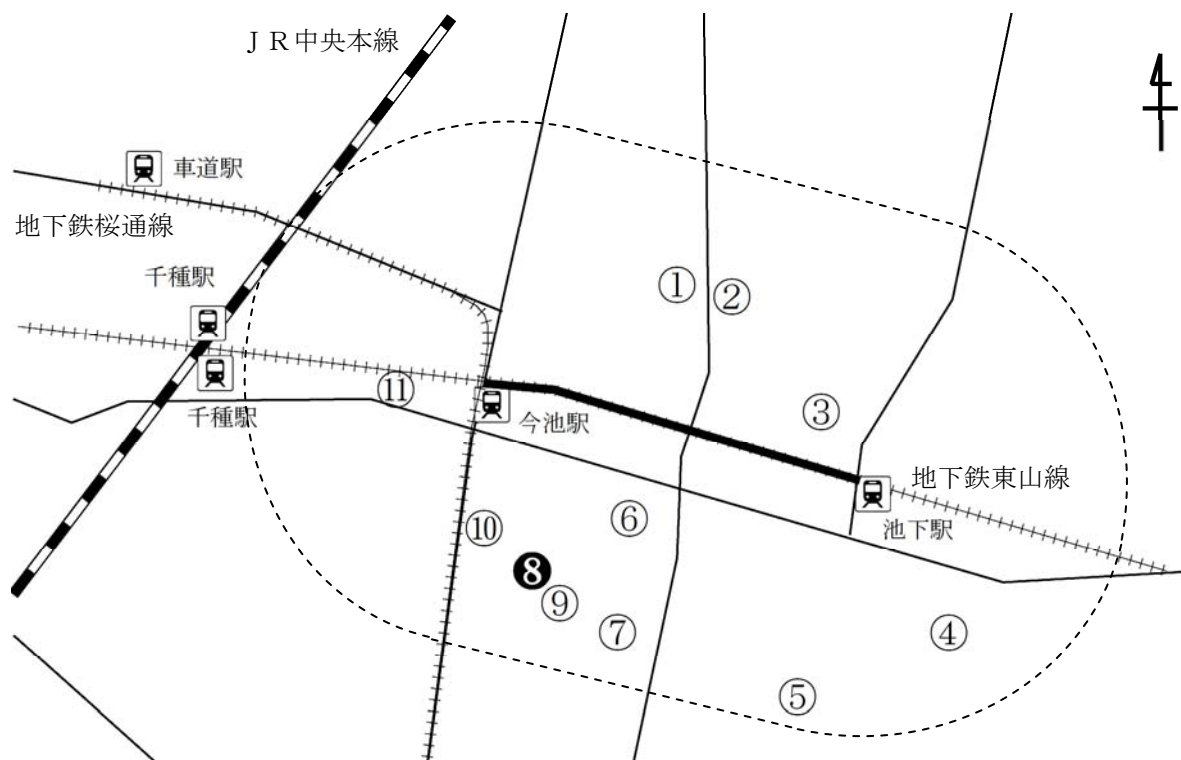
2 地下鉄構内での追加調査について

最初に汚染が発見された地下鉄今池駅地下湧水槽及び湧水槽へ流入する今池駅から池下駅間のトンネル内湧水（地下水）について、追加調査を実施しました。今池駅から池下駅間のほぼ全域で、地下水の環境基準を超過している結果となりました。

単位：mg/L

	汚染物質	基準超えの濃度範囲	基準に対する倍率	地下水の環境基準	基準/調査 超数/数
地下水調査	テトラクロロエチレン	0.017～0.56 mg/L	1.7～56 倍	0.01 mg/L 以下	7/9

3 位置図



※破線は地下鉄東山線今池駅から池下駅間より距離 500m で、今回調査範囲です。

※黒丸数字は環境基準を超過した井戸です。